



伊豆市ゼロカーボン戦略「かけがえのない地球を守る小作戦」宣言

近年、地球温暖化を要因とする気候変動は、記録的な豪雨や猛暑、干ばつや海面上昇など、国内外で深刻な影響をもたらしており、温室効果ガスの排出削減に向けたパリ協定の採択やSDGsの推進など、国際社会の取組が急速に進んでいます。

政府は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。これにより、各計画及び戦略の見直しを加速させ、国を挙げて脱炭素社会の実現に取り組んでいくことが示されました。

また、2019年6月に開催されたG20大阪サミットでは、2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにまで削減することを目指すという「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が、日本の提案により共有されました。

大気を守ること、大地を守ること、大洋を守るとは、いずれも人類にとって歴史的使命であると確信し、美しい伊豆創造を目指す伊豆市も同じ責務を有しています。

伊豆市は2050年までにカーボンニュートラルとプラスチックごみ排出ゼロを目指し、次の戦略を着実に推進することを宣言します。

伊豆市ゼロカーボン戦略「かけがえのない地球を守る小作戦」

- 1 化石燃料に頼らない「脱化石燃料」、自然環境を守りながら新たなエネルギーを創出・消費する「創エネ」を推進します。
- 2 市域内木材の活用促進に努め、無秩序な森林開発を抑制し、良好な森林環境を維持していくための整備を推進します。
- 3 狩野川の源流を有することに誇りを持ち、プラスチックごみを海洋汚染の原因としないよう、プラスチック製品の適正な処理に努めるとともに、脱プラスチック社会の実現を目指します。

令和4年6月20日

伊豆市長 菊地 豊